

進路だより

発行：平成28年6月28日

1 B@T@N ~卒業生による進路だより~

合格者の声!



~卒業生による進路だより~ NO. 10

【島根大学医学部医学科／中等一回生】 中筋 優衣

島根大学医学部医学科では、豊かな心を持ち信頼される医療人となるべく、6年間で医師として必要な人間性を高めるカリキュラムが組まれています。

実際に授業を受けていて特徴的なのは、地域密着型の大学という事もあり、各科目の様々な場面で地域医療の話題が出てくることです。これから日本はさらなる超高齢社会に突入しますが、そういった時代で働くためには欠かせない問題です。一方で、英語教育にも力が入られています。ジブリのDVD（英語）や外国のドラマが自由に見られる、e-clinicというカフェのような空間はとても素敵で、ALTの先生が駐在しています。また、附属の時のようにPCを使って、外国人の患者さんに対する診察のシミュレーションをしながら医学英語を学ぶ講座もあり、楽しみながら勉強できています。

1年次は専門基礎科目のほか、週一回は他学部の生徒と教養科目を履修します。夏には附属病院で早期体験実習も実施されます。

2年次からは解剖学や生理学など専門科目の履修が始まり、3年次には、学生が希望する講座で基本を学ぶ授業が始まります。また、医学チュートリアル教育が行われます。4年次末に共用試験CBT（知識・問題解決能力試験）およびOSCE（客観的臨床能力試験）という二つの大きな試験を受けます。この試験は全国どこの医学科に行っても、全員が受けることになります。



e-clinicの様子

これらの試験に合格した者が、4年次末から各病院で70週間の臨床実習を行うことができます。臨床実習では、学生が医療チームの一員として実際の診療に参加します。国家試験を通り、卒業後は島根県に残る先輩も地元に戻られる先輩もいらっしゃいます。

とても穏やかで落ち着いた、勉強に集中できる環境です。部活やバイトと両立されている方も多く、学生が主体的に過ごせる大学だと思います。大学の雰囲気や周辺の環境など、実際に目にしないと分からないこともあるので、島根大学でなくとも興味のある大学には是非足を運んでみてください。



キャンパスの様子

【東京外国語大学国際社会学部／中等二回生】 山内 駿斗

～学部・学科の紹介～

東京外国語大学には国際社会学部と言語文化学部の2つがあり、それぞれその名の通り国際関係論などを学ぶ学部と文学や芸術などについて学ぶ学部に分かれています。学科という概念は無いのですが、28種類の専攻言語によって区別されることがほとんどです。

～大学生活2カ月を終えて～

外国語大学なだけあり、この2か月の間にウルグアイ前大統領のホセ＝ムヒカ氏や、様々な大使館の大使が訪問し講演会を開いて下さいました。国際問題に興味をもつ人が多く、互いに良い影響を与え合うことのできるいい大学だと感じています。また2か月で既に文法が終わって購読に入っている語科もあり、さすが外国語大学だけあるなとも感じさせられています。イタリア語科ももうじき文法の8割がたが終わるので焦りを覚えてはじめています。

～後輩へのメッセージ～

外大には国際問題に興味がある人、ただ外国語が好きの人、ディズニーが生まれたアメリカ文化について学びたい人など、様々な目的を持って入学した人がいます。それはどこの大学でも同じだと思うので、大学に入学後はそういった異なる考え方の人と交流を持ち是非関わりを持ち世界を広げて下さい！

～大学卒業後の進路～

卒業後は海外勤務、英語の先生、翻訳家など専攻言語を活かした仕事を志望する人が多い一方、アナウンサーなどを志望する人も多いようです。

【立命館大学産業社会学部／中等二回生】 加藤 あかね

～学部・学科の紹介～

立命館大学産業社会学部現代社会学科メディア社会専攻に所属しています。簡単に言えば社会学部です。産業社会学部は現代社会に起きている様々な問題について、現代社会学、メディア学、子ども、福祉、スポーツの観点から勉強します。メディアでは広告についてや、映画、テレビについて勉強できます。映画を見る授業もあってとっても楽しいですよ！産業社会学部には英語副専攻という制度があり、英語でのコミュニケーション能力を伸ばすこともできます。社会学と国際学、どちらを選ぶか迷っていた私にはぴったりの学部でした。

～大学生活2カ月を終えて～

毎日が大変！！です。私は自宅からなので京都衣笠キャンパスまでの通学に約2時間かかります。また、アルバイトも始めたので毎日フルエンジンって感じです。大学に行くと本当にいろんな人がいて、すごく刺激を受けます。附属という空間にいると出会えない個性豊かな人たちと話すのは本当に楽しいです。

～後輩へのメッセージ～

私は6年生になるまで、進路を決めておらず、何もかもが白紙でした。国際系のA0を受けるもあえなく落ちて、正直どうすればいいのかわからなくなりました。でも「自分のやりたいこと」をつきつめつきつめてなんとか、10月に志望校を決めました。12月末に急に世界史から地理に変更したり、それで滑り止めが一つ受けれなくなったり、本当に破天荒な受験生活でしたが第一志望には無事受かることが出来たのでまあいいことにします（滑り止めは落ちまくって岸本先生を驚かせました）。

まとめて言えば諦めないことです。やりたいことを選べば自ずとモチベーションも上がります。地理が好きという理由で地理に変更しましたが好きだというだけでやる気になるし、点数も上がります。やりたいようにやれば後悔も少ないはずですよ。みなさんがやりたいことができる行きたい大学に行けることを願っています。4年生、5年生の皆さんはできるだけ、部活を休んででもOSに行くのを勧めます。全く行ったことがないと6年生で痛い目を見ます（経験談）。

～大学卒業後の進路～

HIS docomo 京都銀行 日本放送協会 読売新聞社関西支部 などなど…